

# 平成 28 年度 ネットワーク学習計画

## 1、学習目標

基礎学力向上のための学習の習慣づけ

## 2、学習課題

正しい姿勢で静かに椅子に座ることができる

ひとつの活動に集中することができる

(個)学習意欲の芽生えに伴い、達成感・満足感を感じることができる

(公)自ら計画的に学習に取り組むことができる

## 3、具体的方法

### ・日常学習支援

#### (小) 学校送迎と送迎時の情報交換

帰園後の子ども達が安心できる関わり

連絡帳チェック表に記入

宿題指導・準備確認 (子ども任せで終わらせないこと)

園内学習指導 (下記表参照)

#### (中) 帰園後の子ども達が安心できる関わり

松の葉・宿題確認

園内学習指導 (下記表参照)

#### (高) 帰園後の子ども達が安心できる関わり

連絡ファイルの確認 (栃特)

園内学習指導 (下記表参照)

### 【園内学習指導】

	月	火	水	木	金	土	日	
妖精	子ども 会議	19:30～	コーラス	19:30～	19:30～	13:30～	13:30～	
人魚		19:30～		19:30～	19:30～	13:30～	13:30～	
宝島		19:30～		19:30～	19:30～	19:30～	13:30～	13:30～
精霊		20:00～		20:00～	20:00～	20:00～	13:30～	13:30～
学習塾		公文			公文			

\*各ユニットで公文もしくはワークによる自主学習を行う。

1、公文学習・・・1日1セットを必ず取り組む。

集中が続かないときは、隣について教えるのもよい。そして、できたところを大いに褒めましょう。

2、自主学ノート・・・職員が問題を作る際には、子ども一人一人の課題を把握した問題作成と飽きさせない展開を心掛ける必要がある。

3、デジタル教材・・・職員が管理できる体制で、取り組む教材の達成度進路状況が子どもにも実感できるように工夫する。

(読み：デイジー、書き：書き取りくん、計算：計算グングン)

・園内特別学習支援

- ① テスト対策：中高生定期・学力テスト1週間前から、各ユニットで職員がついてテスト勉強をする。(入浴を済ませてから20:00~21:30)
- ②受験生指導：自主学習の意識付けと、関係機関(学校・塾)との連携を下にした学習指導を行う。
- ③不登校指導：個々の課題・状況に応じた対応策を、関係機関との連携も含めて考えていく。

Ex.作業(大人と共に作業を通して話をしたりすることで、安心して力を蓄えることができる。作業をこなして褒められることで自信をつけることができる。)

自主学習(「学習を楽しいと感じることができる」ことを目標とした学習指導。または、学校の学習内容に遅れをとらない為の学習指導。)

- ④その他：各行事・畑仕事・自然での遊びを学習の一環とする。  
季節・自然事象に関する教材準備と指導を意識して日常ケアを行う。

・園外学習支援(公文塾)

- ①宿題：(木)(土)(日)基本は毎日全教科行う。
- ②送迎：平日の小学生迎え、雨天時の中学生
- ③宿題：宿題への取り組み ←学習後に毎回チェック・口頭注意する。  
宿題をもらってこない←公文から帰園後にチェック・口頭注意する。  
\*状況に応じて担当職員から指導を入れる。

4、支援方法心得

- ・各々の能力に応じた指導内容と、教育機関との連携。
- ・担当職員との定期的な話し合いをもとに支援の統一・教材の確保に努める。
- ・子ども達が課題と向き合える環境設定に心掛ける。
- ・学習意欲を向上させる言葉掛け・目標設定を意識して支援する。